



目的意識

教育長 津野 庄一郎

義務教育を終えた生徒たちを見送り、子どもたちのために精励した教職員も異動しました。そして、桜開花の便りとともに新しい教職員やスタッフをお迎えすることができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。

古くヨーロッパに伝わる「3人のレンガ職人」というお話があります。

旅人が道を歩いていると、レンガを積んでいる3人の職人に出会う。旅人は「ここで何をしているのか？」と尋ねる。

1人目の職人は「レンガを積んでいるのさ」と、辛くて不公平だと不満を募らせ不機嫌そうに答えた。

2人目の職人は「大きな壁をつくっている」と、家族を養うために仕事があって感謝している様子だ。

3人目の職人は「歴史に残る偉大な聖堂を立てている」と、周りの人々の幸せを願いつつ教会をイメージしていた。

このように3人とも「同じ仕事」をしていますが、見ている世界、目的が全く異なります。もちろんレンガを積む単純作業やお金を得ることを否定しているわけではありません。ただ、同じ業務内容をこなすにしても、「何のために仕事をするのか」「向かう先にどんな価値や未来があるのか」を考えながら仕事に打ち込んでいけば、スキル（技能）も高まり、人間的にも大きく成長できるのではないかと考えます。

関川村の教育で目指すのは、「ふるさと関川を愛し、誇り、学び続けるひとづくり」です。教職員と村民一人ひとりがその当事者としての自覚をもち、自分にできる何かを見つけて努力すればきっと実現できる。そんな夢を描いています。令和8年度もよろしく願いいたします。

※ 「教育長だより」と「教育長ブログ」は、関川村ホームページでご覧いただけます。

※ 紙面でご覧になりたい方は、役場1階入口左側の「お知らせコーナー」にありますので、ご自由にお持ちください。